

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」白山松任校		
○保護者評価実施期間	2024年11月15日		～ 2024年11月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	52	(回答者数) 27
○従業者評価実施期間	2024年11月15日		～ 2024年11月16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・相談員、保護者の信頼が厚く、多くのご利用を希望されている	・支援が充実するよう、または安全に支援ができるよう、支援具の確報、環境改善案を出し合い、実現に向けて行動している	・全ての環境を整えるため、職員が安定して支援を行っていく
2	・新規の問い合わせをいただいたり、相談員から白山松任校を勧められ、問い合わせをいただくことが多い	・問い合わせいただいた際には丁寧な対応を心掛け、体験、契約へとつなげている	・受け入れ人数に制限があるが、出来る限り受け入れられるように工夫していく
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・一時的に職員の体調不良等で支援を受け入れられない時があった	・業務量の調整、分散 ・人員配置	・現場の意見が反映される環境を整える ・余裕のある人員配置の実現
2	・事業所内の設備や構造上の課題	・事業所の広さ ・バリアフリー等	・事業所の広さを変えることはできないため、不用品の処分、整理整頓を心掛け、限られたスペースを有効活用する
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 子どものサポート教室「きらり」白山松任校

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数

52

回収数

27

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	21	6	0	0	もう少し広いと良いかも	事業所の改装は難しいため、現状でできる範囲の支援をさせていただきますのでご了承下さい。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	25	0	1	1		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	20	5	1	1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	24	2	1	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	24	2	1	0	少し教室が暗いように感じる	蛍光灯の交換等で対応できるものであれば対応させていただきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	25	2	0	0		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	25	2	0	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	26	1	0	0		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	26	1	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	22	4	0	1		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	26	1	0	0		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	27	0	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	26	1	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13	5	3	6		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	25	1	1	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	22	2	1	2		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	26	1	0	0		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	10	3	9		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19	2	1	5		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	25	2	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	22	1	0	4		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	24	1	0	4		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17	3	1	6		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15	3	0	9		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19	3	0	5		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16	4	0	7		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	27	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	24	3	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	25	2	0	0	駐車が近くにあると良い。 欠席連絡をLINEやアプリでできると良い。	駐車場に関してはご不便をおかけしておりますが、空いている場合は校舎前に駐車して下さい。また、LINEについてですが、検討させていただきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」白山松任校			公表日		2025年 2月 15日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		お子様の特性やその日の調子によって1階と2階の支援室を分けている。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		児童一人に対して、1対1でその子の特性に合わせて対応している。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		1階・2階の校舎のため、外階段での行き来となっている。天候が悪いと滑りやすいため、児童の移動の際は指導員と一緒に行動するなど工夫をしている。1階2階の伝達はインターフォンで行っている。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		日々、清掃、整理整頓し、1時間ごとの消毒、換気を行っている。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		お子様の特性に合わせて個室とフロアを使用できるように対応している。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		事業所内で話し合いを行っている。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		事業所内で話し合いを行って、業務改善につなげている。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		事業所内で話し合いを行っている。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	現在、第三者評価はしていないが、上長の巡回や内部監査等で事業所の書類を確認してもらっている。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		連携機関である発達支援研究所の研修や事例検討会、行政主催の講演会等に参加している。			
適	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		適切に支援プログラムを作成しており、公表している。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		保護者様との面談の中でアセスメントシートを作成し一人一人の特性に合わせて計画を作成している。			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		児童に必要な内容を選択し、支援計画を作成している。また、その上で療育プログラムを作成し、支援を行っている。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		支援計画に沿って療育プログラムを作成し、支援を行っている。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		会社で標準化されているアセスメントツールを使用している。			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		5領域を意識し、個別支援計画を作成し、支援を行うプログラムを作成している。			

切 な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		児発管と担当指導員、他指導員がモニタリングを行い、プログラムを立てている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		常にお子様の様子や教材に対する反応を見ながら工夫していく。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		ふだんは個別療育だが、希望される方は、月1回程度行っている小集団のきりりひろばで集団活動を経験している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		前回支援の様子や児童の様子について確認を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援準備時や終礼時に、児童の気になることや保護者様から頂いた意見などを共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		会社内のルールに則って記録を記載・保管している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		少なくとも6ヶ月に1回のモニタリングの機会を設けている。お子様の状況によって、モニタリングの時期を早めている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		児童に合わせてバランスよく組み合わせ支援できるようにしている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		将来生きていく力をつけるための支援を行っている。聞く力、伝える力を育むための支援を行っており、自己決定する力に繋がっていく支援ができていると思う。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児発管が中心となって参加している。場合によっては指導員にも参加を頂いている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		関係機関と連携し、支援の体制を整えている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		必要に応じて情報共有を行っている。授業参観や学校公開週間の際も各学校に連絡を取り、情報の伝達を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		必要に応じて行っている。相談員からの情報をお聞きし職員に周知を行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○	○	例がまだない。今後そのようなことがあった場合は、相談員や各種関係機関も含めて連携を図っていききたい。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		発達相談センターとの連携を組み、必要な情報をお聞きしたり、講演会の案内があった際は参加するようにしている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		児童館などとの交流は少ないが、きりりひろばで児童の兄弟姉妹児が参加するケースはあり、交流を図っている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		市のこども部会へ参加しており、意見交換を行っている。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		支援後に必ず当日の支援の様子を確認し、必要に応じて学校や家庭での様子をお聞きして情報共有を行っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		研修の情報提供を行っている。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に丁寧にお伝えしている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		保護者様と相談の上、支援計画を作成している。	

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		支援内容についてご説明し同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		保護者様のご希望を受けて相談を受けたり、「きらり」の方から相談が必要と感じた保護者様にはお声をかけて相談をしている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		○		今年度はきらりカフェの開催を見送ったが、タイミングを見て、そういった機会も作っていききたい。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情があれば職員全員で解決に向けた話し合いを行い、真摯に対応していく。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		月に2回以上ブログを投稿し「きらり」での活動な事業内容を紹介している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報鍵付きの書庫で厳重に保管している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		直接フィードバックが難しい場合は、電話や報告書等で対応している。児童が知りたくない内容については離れた場所でのフィードバックや後日面談を行い対応することがある。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		パンフレットや校舎のチラシを地域の店舗に置かせて頂いている。今年度開かれたきらりcaféでは隣接するcaféを利用させて頂いた。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		毎月避難・防災訓練を行っている。年に2回は児童・保護者参加の避難・防災訓練も行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		毎月、訓練を行っており、年2回は児童、保護者様参加で行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		面談の際に確認し、アセスメントシート等に記載している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		食事の提供は行っていないが、給食やお菓子を食べて来校した際に、アレルギー反応を起こす可能性もあるため、初回面接の際にお聞きしている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、研修や訓練等を行っている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		安全計画についてはこういったものがあるということを簡単にご説明している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		職員間で共有し、事故への発展がないように周知している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		1年に1回行政主催の研修に参加し、事業所内でも研修を行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		契約時に必ず保護者様にお伝えしている。		